

身近な効果を実感しやすい「ムリなくムダなく長続きする」DXの推進へ



【議会】
議会ICT化推進時の連携や効率的な運営などのサポート

本案内資料もデジタルで効率的なワンペーパー化

【首長・トップ】
「デジタル・ファースト(これって電子化できない?)」
「DXでもっと改善できないか?」

【CIO・CIO補佐官などDXの旗振り役】

- ・首長・トップの想いを現場の役職員に「翻訳・通訳」
- ・現場の声を「口先のこと」から「施策」へお導きする
- ・現場で住民/地域社会で役所利用者視点でニーズ抽出
- ☆役職員側・住民/地域社会側ともに身近に効果を実感できる付加価値の高いところを集中的にDX推進
- ・役職員： 人手では面倒・苦痛・超過勤務をDXで解消
- ・住民/地域社会： 面倒・時間がかかる・自宅や職場で“ささっと済ませたい”をDXで解消
- ・それぞれの悩みと悩みを掛け合わせてプラスにする
- ☆責任はCIOなどが負い、DXの恩恵は、まず住民・地域社会に、更に、首長～役職員・議員も相互に享受

【庁内の役職員】
過重労働・超過勤務
血税コストの削減
もっと働きやすく
効率的にテキパキと

【住民/地域社会】
申請・手続きも楽に早く
身近な効果の実感
産官学を巻き込む社会課題への対応
平時も有事もスムーズに

【DXって?】
人間が嫌な仕事・人手ではムリ・ムダ・非効率な業務をICT処理に移行して、人間の力や生き方働き方を**有意義に最大化**する取組み

【スマートシティ化って?】
要は、ICTをフル活用して**サステイナブルな街・生活・労働を実感**できる事 (Society5.0もICTフル活用にて便利で効率的な社会へ)

【サステイナブルって?】
「**ムリなく・ムダなく・理にかなって・お互いに幸せになりあうように・長続きする**」といった取組みを**多様性に配慮**しつつ進める事



【デジタル・ファースト・アジャイル型のDX推進】
大風呂敷を広げてなんでもかんでもムダなものまで計画化して意味ないことも漏れなく実践する**ウォーターフォール型**ではなく、付加価値の高いところを市民/地域社会ニーズに応じて役職員も助かる形で身近な取組みやすいところを**ムリなくムダなくデジタル化・DX推進するアジャイル型**のスタイルが適する

【実務上対応でCIOなどが自らDX実践・リモート対応等】

- ・アイデア出しや企画段階からの民間視点での**伴走型助言**
- ・自ら**現場**でもニーズ抽出や住民/役職員視点での働きかけ
- ・**サイバーセキュリティ**対策・研修講師・自らDXの事例化
- ・住民/地域社会への説明の**動画作成**や**対話の場づくり**支援
- ・セールストークに惑われない実情を知る**業者選定の目利き**
- ・議会・監査・SDGs・広報・災害対策等も視野に支援等

【例えばどんなDX推進?】
文書デジタル化、ペーパーレス化、環境負荷の低減、コスト削減、時短・残業の削減、業務継続 (BCP)、業務自動化、お問合せ自動化チャットボット、ワンストップアプリ等



←戸村が自ら編集・作成のプロモーション動画



日本マネジメント総合研究所合同会社
理事長 戸村智憲 ©Tomonori Tomura
TEL:050-3196-4513 ウェブQR→

